確認問題
127

構文・英文和訳 CHECK TEST

下線部和訳で狙われる頻出構文40 確認問題集

下線部和訳の頻出構文の確認問題33問。訳の選択・空所・誤訳の手直し・並べかえ・本格和訳で、減点されない訳を固める。

元のチートシートへ

月　日　名前　／33問

表で解いて、裏で答え合わせ。まちがえた所は元のシートへ。

◆ Ⅰ 下線部の訳として最も適切なものを選べ

1 Practice is everything in cooking. A good textbook can no more make you a chef than a map can make you a traveler.

a 良い教科書は、地図ほどにはあなたをシェフにしてくれない
b 地図があっても旅人になれないのと同じで、良い教科書があってもシェフにはなれない
c 良い教科書は地図よりも、あなたをシェフにする力が弱い
d 良い教科書は、地図が旅人を生むのと同じくらいシェフを生む

2 She lost in the final, but her parents were none the less proud of her for losing.

a 負けたせいで、両親が彼女を誇りに思う気持ちは少し薄れた
b 負けたので、両親はなおさら彼女を誇りに思った
c 負けたからといって、両親が彼女を誇りに思う気持ちは少しも変わらなかった
d 負けたので、両親は彼女を少しも誇りに思わなかった

3 It was not until the power went out that we realized how much we depended on electricity.

a 停電するまで、私たちは電気に頼っていなかった
b どれほど電気に頼っているかに気づいたのは、停電する前だった
c 停電したので、私たちは電気に頼るのをやめた
d 停電して初めて、私たちはどれほど電気に頼っているかに気づいた

4 Before you criticize the plan, think again. A wise leader would listen to the opinions of young people.

a 賢明なリーダーは、若者の意見に耳を傾けた
b 若者の意見に耳を傾ければ、賢明なリーダーになれるだろう
c 賢明なリーダーは、若者の意見に耳を傾けるべきだ
d 賢明なリーダーなら、若者の意見に耳を傾けるだろう

5 I never visit my hometown without being reminded of how much it has changed.

a 故郷を訪れても、変わったことには気づかない
b 故郷がどれほど変わったかを思い出さないように、決して帰省しない
c 故郷を訪れないので、どれほど変わったかわからない
d 故郷を訪れるたびに、どれほど変わったかを思い知らされる

6 Only when we lose our health do we understand its true value.

a 健康を失うときはいつも、私たちはその価値を理解している
b 健康を失って初めて、私たちはその本当の価値がわかる
c 私たちだけが健康を失い、その本当の価値を理解する
d 健康を失ったときだけ、私たちはその本当の価値がわからなくなる

7 To see him dance, you would never guess that he started only a year ago.

a 彼が踊るのを見ても、1年前に始めたことはすぐわかるだろう
b 彼は1年前、人の踊りを見て始めようと決めた
c 彼が踊るのを見たら、ほんの1年前に始めたとはとても思えないだろう
d 彼が踊るのを見るために、1年前に始めたとは誰も推測しないだろう

8 The professor admitted that she could not answer the question, and I respected her all the more for her honesty.

a 彼女が正直でも、私の尊敬の気持ちは変わらなかった
b 彼女が正直だったので、私はなおさら彼女を尊敬した
c 私は彼女の正直さだけを尊敬した
d 彼女は正直だったが、私はそれほど尊敬しなかった

◆ Ⅱ 空所に入る最も適切なものを選べ

9 Learning a language is not so much a matter of memorizing rules ＿＿ a matter of using them.

a so　b as　c than　d but

10 The new stadium can hold three times ＿＿ people as the old one.

a more　b as many　c many　d as much

11 It is not that I dislike parties, ＿＿ that I am too busy to go to them.

a and　b but　c or　d so

12 ＿＿ for your advice, I would have made a terrible mistake.

a Had not it been　b Had it not been　c If it had not　d Without it

13 With his eyes ＿＿, he listened carefully to the music.

a closed　b closing　c have closed　d to close

14 If we are ＿＿ meet the deadline, we will have to work over the weekend.

a going　b able　c to　d about

15 The harder you practice, ＿＿ you will become.

a the more confident　b more confident　c the confident　d the most confident

16 She had a high fever. That is ＿＿ she was absent from school.

a what　b why　c because　d how

Ⅲ 次の訳には減点される点がある。英文に合うように訳し直せ

17 Expensive running shoes do not necessarily improve your performance. 訳:高いランニングシューズで走りがよくなることはない。

18 We should have checked the weather forecast before we left. 訳:出発する前に天気予報を確認すべきだ。

19 Busy schedules prevent many students from getting enough sleep. 訳:忙しいスケジュールは多くの学生を十分な睡眠を取ることから妨げる。

20 Do what you think is right, not what others expect of you. 訳:他人があなたに期待することではなく、正しいことをしなさいとあなたは思う。

Ⅳ 日本語に合うように( )内の語句を並べかえよ

21 年を取れば取るほど、時間がたつのが速く感じられる。The (faster / get / older / the / we), time seems to pass.

22 手伝いたくないのではなく、やり方がわからないのだ。It's (don't / I / not / that / to help / want), but that I don't know how.

23 彼女はひと言も言わずに部屋を出ていき、そのことに皆が驚いた。She left the room without saying (a / everyone / surprised / which / word).(コンマを1つ補う)

24 子どもがどの程度スマートフォンを使うかは、家庭によって大きく異なる。The (children / extent / to / use / which) smartphones varies greatly from family to family.

25 毎日練習することによってのみ、楽器の腕は上がる。Only (by / can / every day / practicing / you) improve your skills on an instrument.

Ⅴ 次の英文(下線部があれば下線部)を自然な日本語に訳せ

26 Twenty years ago, few teenagers had a mobile phone. <u>The rapid spread of smartphones since then has changed the way young people communicate.</u>

27 Little did I imagine that I would one day teach at the school I had attended.

28 What makes some people more creative than others?

29 If you are to make friends in a new country, you need to learn at least some of the local language.

30 Knowing a lot of words is one thing; using them correctly is another.

31 Children do not read books just because their parents tell them to.

32 It was her patience, rather than her talent, that made her a great teacher.

33 With the exam only a week away, she could hardly sleep.

解答・解説 下線部和訳で狙われる頻出構文40

1 **b　地図があっても旅人になれないのと同じで、良い教科書があってもシェフにはなれない**
no more A than B＝B と同様に A もない(両方否定)。「～ほど～ない」と程度の比較に訳すのが典型的な誤訳。前文の「練習がすべて」とも合う。→ シートの『① 比較』

2 **c　負けたからといって、両親が彼女を誇りに思う気持ちは少しも変わらなかった**
none the 比較級 for A＝A だからといって～の度合いが少しも減らない(＝それでも変わらず～)。all the 比較級(なおさら)と取り違えると「なおさら」の誤答になる。

3 **d　停電して初めて、私たちはどれほど電気に頼っているかに気づいた**
It is not until A that B＝A して初めて B。not は realized を打ち消すので「頼っていなかった」とは言っていない。前後関係を逆にした選択肢も典型的なひっかけ。

4 **d　賢明なリーダーなら、若者の意見に耳を傾けるだろう**
主語に仮定が隠れた仮定法。would を手がかりに主語を「～なら」と条件に訳す。would を過去や should と読むと「だろう」が消える。→ シートの『③ 仮定法・助動詞』

5 **d　故郷を訪れるたびに、どれほど変わったかを思い知らされる**
never A without B-ing＝A すると必ず B する(二重否定→肯定)。without を目的「～しないように」と読むと正反対の訳になる。

6 **b　健康を失って初めて、私たちはその本当の価値がわかる**
Only＋when 節が文頭→主節が倒置(do we understand)。「～して初めて」と訳す。only がかかるのは when 節で、主語 we ではない。

7 **c　彼が踊るのを見たら、ほんの1年前に始めたとはとても思えないだろう**
To V ～, S would …＝～したら…だろう(不定詞に隠れた if)。主節の would が目印。目的「～するために」と訳すと意味が通らない。

8 **b　彼女が正直だったので、私はなおさら彼女を尊敬した**
all the 比較級 for A＝A なのでそれだけいっそう～。all を「すべて・だけ」と読むのは誤り。「なおさら・いっそう」を落とすと減点される。

9 **b　as**
not so much A as B＝A というよりむしろ B。so ～ as の比較の形なので than は入らない。主張は B(使うこと)の方。

10 **b　as many**
倍数＋as many 名詞 as。people は数えられる名詞なので much は不可。more なら three times more people than と than が必要。

11 **b　but**
It is not that A but that B＝A というわけではなく B なのだ。not A but B の型なので but。and では「嫌いではなく、そして忙しい」となり対比が崩れる。

12 **b　Had it not been**
主節が would have p.p.(過去の反対)なので If it had not been for ～ の倒置形。倒置では not は主語の後(Had not it とはしない)。If it had not は been が欠ける。

13 **a　closed**
with O C の付帯状況。目は「閉じられた」状態なので過去分詞 closed。closing だと目が自分で閉じつつある意味になる。訳は「目を閉じて」。

14 **c　to**
if 節の be to V＝意図「～するつもりなら・～するには」。going・about・able はいずれも後ろに to が必要で、形が崩れる。→ シートの『⑦ 不定詞・分詞・その他』

15 **a　the more confident**
The 比較級 ～, the 比較級 …＝～すればするほど…。後半にも the＋比較級が要る。最上級はこの構文に入らない。

16 **b　why**
That is why ～＝だから～(後ろが結果)。熱(原因)→欠席(結果)なので why。because にすると「欠席したから熱が出た」と因果が逆になる。

17 **高いランニングシューズを履けば必ず走りがよくなるとは限らない。**
採点ポイント：not necessarily は部分否定「必ずしも～とは限らない」。元の訳は全体否定にすりかえていて誤訳。

18 **出発する前に天気予報を確認しておくべきだったのに。**
採点ポイント：should have p.p.＝～すべきだったのに(実際はしなかった)。現在の助言に訳すと時制と後悔が消える。

19 **予定が詰まっているせいで、多くの学生は十分な睡眠が取れない。**
採点ポイント：prevent O from -ing＝S のせいで O は～できない。無生物主語を原因に訳し、人を主語に立てる。元の訳は日本語として意味が通らない。

20 **他人に期待されることではなく、自分が正しいと思うことをしなさい。**
採点ポイント：what (you think) is right の you think は挿入。「あなたは思う」を独立させずに「自分が正しいと思うこと」と what 節の中で訳す。

21 **The older we get, the faster time seems to pass.**
The 比較級 S V, the 比較級 S V。前半は we get、後半は time seems to pass。the faster の後ろに主語 time が来る語順に注意。

22 **It's not that I don't want to help, but that I don't know how.**
It is not that A but that B。A の中にも否定(don't want)があるので、not that の後に I don't want を続ける。

23 **She left the room without saying a word, which surprised everyone.**
, which の先行詞は前の文全体(部屋を出ていったこと)。訳すときは「そのことに」と指す内容を明示して訳し下ろす。

24 **The extent to which children use smartphones varies greatly from family to family.**
the extent to which S V＝S がどの程度～するか。children use smartphones to the extent の to the extent が前に出た形。主語は The extent なので動詞は varies。

25 **Only by practicing every day can you improve your skills on an instrument.**
Only＋副詞句(by -ing)が文頭→can you improve と倒置。「だけ」の範囲は by practicing every day の部分。

26 **それ以来スマートフォンが急速に普及したことで、若者のコミュニケーションのとり方は変わった。**
採点ポイント：名詞構文 the rapid spread of ～ を「～が急速に普及したこと」と文に戻す／the way S V＝～するしかた。「～の急速な広がりが」も構造が取れていれば部分点。

27 **いつか自分がかつて通っていた学校で教えることになるとは、思いもしなかった。**
採点ポイント：文頭の Little＋倒置＝全く～ない(「少し想像した」は誤訳)／had attended は「以前通っていた」と時のずれを出す。

28 **なぜ他の人より創造性の高い人がいるのだろうか。**
採点ポイント：What makes A ～？＝なぜ A は～なのか。直訳「何がある人々を他の人より創造的にするのか」も構造は正しいが、「なぜ」で訳すと自然。

29 **新しい国で友だちを作りたいなら、少なくともその土地の言葉を少しは覚える必要がある。**

採点ポイント：if 節の be to V＝意図「～するつもりなら・～するには」（予定・義務と訳さない）／at least some of ～＝少なくとも一部は。

30 **単語をたくさん知っていることと、それを正しく使えることは別物だ。**

採点ポイント：A is one thing; B is another＝A と B は別物だ。直訳「1つのこと／もう1つのこと」は意味が伝わらず減点されやすい。

31 **子どもは、親に言われたからというだけで本を読むわけではない。**

採点ポイント：not ～ just because …＝…だからというだけで～するわけではない（not が because 節まで届く）／tell them to の後ろに read books を補う。

32 **彼女を優れた教師にしたのは、才能というよりむしろ忍耐強さだった。**

採点ポイント：It was A that ～ の強調構文で「～したのは A だった」／A rather than B＝B というよりむしろ A。「彼女に才能より忍耐があった」と構文を崩すと減点。

33 **試験まであと1週間しかなかったので、彼女はほとんど眠れなかった。**

採点ポイント：with O C（付帯状況）＝O が C なので／only a week away＝あと1週間しかない／hardly＝ほとんど～ない（「懸命に」は誤り）。

もっと無料で学ぶなら

原田英語.com

究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。

原田英語.com

ほかのチートシート
（全439本・無料）